

数 学 B 学 習 指 導 案						
学 級	2年2組 B講座	教 室	32教室	指 導 者	(省略)	
単 元	第1章 平面上のベクトル		教科書	新編 数学B (数研出版)		
指 導 目 標	ベクトルが、向きと大きさをもつ量であることを理解させ、平面上に図示したり、独自の演算である内積について学習することで、ベクトルを用いて、平面図形の性質を調べることができるようにする。		指 導 計 画	第1節 ベクトルとその演算 ベクトル/ベクトルの演算 …… 5時間 ベクトルの成分/ベクトルの内積 …… 5時間 第2節 ベクトルと平面図形 位置ベクトル …… 2時間 ベクトルの図形への応用 …… 3時間 (本時はその1時間目) 直線のベクトルによる表示 …… 3時間		
本時の主題	ベクトルの図形への応用 (3点が一直線上にあるための条件)					
前時の課題	ベクトルの和・差及び内分・外分に関する課題プリント					
目 標	1 平面上の3点が一直線上にあることをベクトルで表現できる。 2 ベクトルを用いて、和や差、内分や外分を作図できる。 3 証明の筋道を正しく理解し、ベクトルの有用性を理解させる。					
指 導 過 程	指 導 内 容		時間	指 導 上 の 留 意 点		資料・教具・評価の観点等
	導 入	前時の課題の解答	5	・ベクトルの計算と作図の関係を正確に理解させる。		・和や内分を正確に作図できる。表現・処理
	展 開	1 3点が一直線上にあるための条件	5	・ $\vec{AC} = k\vec{AB}$ 以外の表現も可能であることを確認しておく。		・ベクトルの実数倍について理解している。 知識・理解
		2 応用例題3の解説 (1) ベクトルを設定する。 (2) \vec{AF} , \vec{AE} を求める。 (3) $\vec{AF} = k\vec{AE}$ と表す。	15	・2つのベクトルを設定する理由を確認させる。 ・ACDに注目させる。 ・係数kの求め方を理解させる		・証明すべき内容を把握している。 知識・理解 ・ベクトルの和や内分について理解している。 表現・処理
		3 練習30の演習 (1) 生徒による板書 (2) 補充説明	10	・机間指導により、理解度を確認する。 ・板書による解答で、確実に理解させる。		・筋道を立てた証明ができている。 数学的な見方や考え方
開	4 Study-Up59,60の演習 (1) 生徒による板書 (2) 補充説明 (補充プリント)	10	・習熟度の高い生徒は補充プリントに取り組みさせる。		・自分の考えを正しく伝えることができる。 表現・処理 ・進んで補充プリントに取り組むことができる。 関心・意欲・態度	
整 理	1 本時のまとめ 2 次時の予告	5	・応用例題4		・ベクトルの有用性に気づく。 数学的な見方や考え方	
次時の課題	・Study-Up59,60の完成 ・課題プリント					
備 考	普通科 類型 生徒数26名(男子14名, 女子12名)					

